

牧師 山本護 司式 斉藤美沙子 奏楽 山本恵美 ※讃美歌は二番までうたいます

|      |                               |      |                  |
|------|-------------------------------|------|------------------|
| 前奏   | 黙想                            | 祈禱   |                  |
| 讃美歌  | 55 今日ひかりを                     | 讃美歌  | 124 みくにをもみくらをも   |
| 祈禱   |                               | 献金   |                  |
| 信仰告白 | 使徒信条 566                      | 讃詠   | 547 いまささぐるそなえものを |
| 聖書   | 列王記下 2:7~8<br>マルコによる福音書 1:1~4 | 黙禱   |                  |
| 讃美歌  | 411 すべしらす神よ                   | 主の祈り | 564              |
| 説教   | 『荒れ野の川から』                     | 頌栄   | 543 主イエスのめぐみよ    |
|      |                               | 祝禱   | 後奏               |

四つの福音書の中で、最初に記されたマルコ福音書。この福音書は「神の子イエス・キリストの福音の初め(マルコ 1:1)」で始まり、クリスマスに関する記述は無い。私が学んだ神学グループは教師も学生も先鋭的で、授業が終わると皆クタクタになった。新約学者のT先生は「冒頭の〔神の子〕の称号は有力な写本には無い」と述べた。つまり、教会が意図して「有力でない」写本を採用したために、イエスが人間であることのリアルな切迫感が薄まった、という問題提起だ。「おおっ、そりゃスゲエ」、私たちは神学的な挑発にまんまと乗せられ、反体制的なイエス、脱教會的なキリスト像を思い描いた。

神学生の信仰は揺さぶられたが、イエスに「神の子」という称号があろうがなかろうが、マルコ福音書は冒頭から最も重要な「福音」を示している。それでは「福音=善きおとずれ」とは何か。愛による十字架の贖い、罪と死の超克、神の御国の到来か。十字架ゆえに、人間であるイエスを「神の子」と証しする福音書。まず福音が提示され、それから「神の子イエス・キリスト」の数年間が語られる。

イエスの人間性と十字架には奥行きがあり立体的に見える。イエスは決して体制的ではないが、かといって反体制に与する「派」でもない。ユダヤ独立運動家バラバは反体制派で、民衆に支持され(15:15)、イエスは「孤」だった。十字架は唯一無二、神からも見捨てられるほどの(15:34)「孤」であった。

「荒れ野で叫ぶ者の声がする。〔主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ〕(1:3)」。マルコ福音書はイザヤ書を引き、イエスの道備え(1:2)をする洗礼者ヨハネのことを語る(1:4)。ヨハネは毛衣に皮の帯という特異なスタイルで(1:6)、天に上げられたあの預言者エリヤ(列王下 1:8)に結びついている。エリヤが毛衣の外套でヨルダン川を打つと水は左右に分かれ、そこを進んだ(2:8)。洗礼者ヨハネは荒れ野のヨルダン川で「悔い改めの洗礼を宣べ伝えた(マルコ 1:4)」。ヨルダン川という象徴。人生の重要な起点で「あれかこれか」と決断させる。福音書は冒頭で、私たちにどんな決断を求めているのだろうか。

「荒れ野で叫ぶ者の声がする(1:3)」。つまり「神の子イエス・キリストの福音の初め(マルコ 1:1)」という「福音」の宣言は、荒れ野で公にされた。すなわち教会の礎は「荒れ野」とも言える。そういえば心当たりがないわけではない。十数年前、礼拝堂の棟上げをした時、この周囲は土木工事のために赤土が露呈し、荒涼としていた。ヨルダン川周辺の荒れ野と比べたら箱庭みたいなものだが、開拓伝道で建てられた八ヶ岳教会にとって、あの荒涼を吹いていた風は重要な原風景ではないだろうか。

「荒れ野」とは何であろうか。イエスの故郷、北方のガリラヤは緑多く生命が横溢しているのに、なぜ聖都エルサレムは厳しい荒れ野にあるのか。ガリラヤ湖は生物多様だが、荒れ野の死海には生命の気配が皆無。なぜそんな所が信仰の原点になるのか。普通の感覚だと、逆じゃないかと思うのだが。

私たちキリスト者は決断する、荒れ野のヨルダン川で。「洗礼者ヨハネが荒れ野に現われて、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた(1:4)」。洗礼とは究極的に「聖霊の洗礼(1:8)」なのだが、荒れ野で無一物となる私たちにとって、神と共に在り続けるもっとも深い決断。それが福音(1:1)。毛衣の外套でヨルダン川を打つと水は左右に分かれ(列王下 2:8)、私たちはさらに先へ進む。

数多の命が連関している自然 生命の気配なき荒野もまた自然 ガリラヤ湖と死海はヨルダン川でつながっている 創造による命と死はこうしたひとつながり 死にくだる洗礼は上流の命へ遡る力

新しい年、2022年を迎えました。今年もよろしくお願いたします。本日役員会があります。1/8(土)は聖書研究会 1:30~3:00。1/15 八ヶ岳カトリック教会。牧師の動き:1/10 分区分教師会、1/13 刑務所教誨。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。